

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅

ここは、台湾の新北市の私立樹人高級家事商業職業学校——インターアクトクラブの親善訪問で訪れると、歓迎式典が催され、四千人に達する学生たちがさまざまな演目で熱演した。「異様ないでたちの伴奏に合わせた怪奇な身振りが異国情緒たつぷりの演技で楽しませてく



「千客萬來」(台湾)
撮影 中島 裕之 (2700 大川)

れた」

と、撮影した中島裕之氏は言う。

写真は二〇一五年三月二十七日。

撮影は二〇一五年三月二十七日。

※

ここは、西南戦争(明治十年)前後からの四万四千余柱を祀る大分市の大分縣護國神社の境内。市の中央部にある小山松栄山の中腹に社地があり、梅の名所でも名高い。

いつもメジロに出合うために、この時期に毎年訪れているが、その年も可憐なメジロが満開の梅に止まっていた。梅は境内に約二百本ほども植えられていて、三月の第一日曜日には「梅花祭」が催される。まさにその頃、メジロが飛来して群がり、写真家たちの絶好の場所になる。



「梅とめじろ」(大分県)
撮影 黒岩 英 (2720 別府東)

「メジロの目にピントを合わせてニコンD3で連写しました。周囲の梅のボケを考慮して三百ミリニ・八Gの開放で撮影しました」

と、黒岩英氏は言う。

撮影年月は、二〇〇八年三月。

梅見頃メジロさえずりのどかなる

岡井 輝生

(ジャーナリスト)

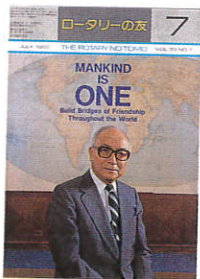
表紙こぼれ話

一九七七年、公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは、国際ロータリー(RI)の機関誌『The Rotarian』だけでなく、RIが指定した公式地域雑誌を講読することで会員としての義務を果たすことができるようになった。

『友』は、一年間の試験期間を経て、一九八〇年七月号からRI公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件の一つに、「毎

年、年度の始まる七月号の表紙には、RI会長の写真を掲載する」ことがあり、『友』は試験期間の始まった一九七九年七月号からRI会長の写真を表紙に掲載しています。日本で二人目のRI会長である向笠廣次氏(一九八二―八三年度)と三人目の会長であ

る田中作次氏(二〇一三―一四年度)は表紙になっていますが、それ以前にRI会長に就任した東ヶ崎潔氏(一九六六―六七年度)は、RI会長としては表紙に載っていません。しかし、ガバナー時代の一九五七年八月号に、ほかのガバナーとともに登場しています。



RI会長年度の7月号に向笠廣次氏(上、1982年)と田中作次氏(2012年)



1957年8月号。東ヶ崎潔氏は同期のガバナーと表紙に(右)